

2026 年 9 月入学

龍谷大学

**外国人留学生入学試験要項
(学部・大学院)**

**For International Students
For Entry In September 2026
(Undergraduate, Graduate School)**

Ryukoku University

Admission Guide

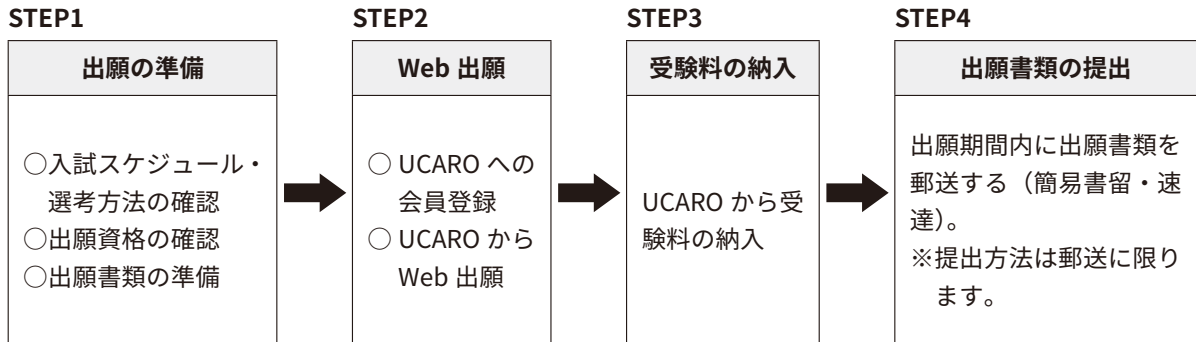
出願の流れ

○龍谷大学に出願するには受験ポータルサイトUCAROへの登録が必要となります。

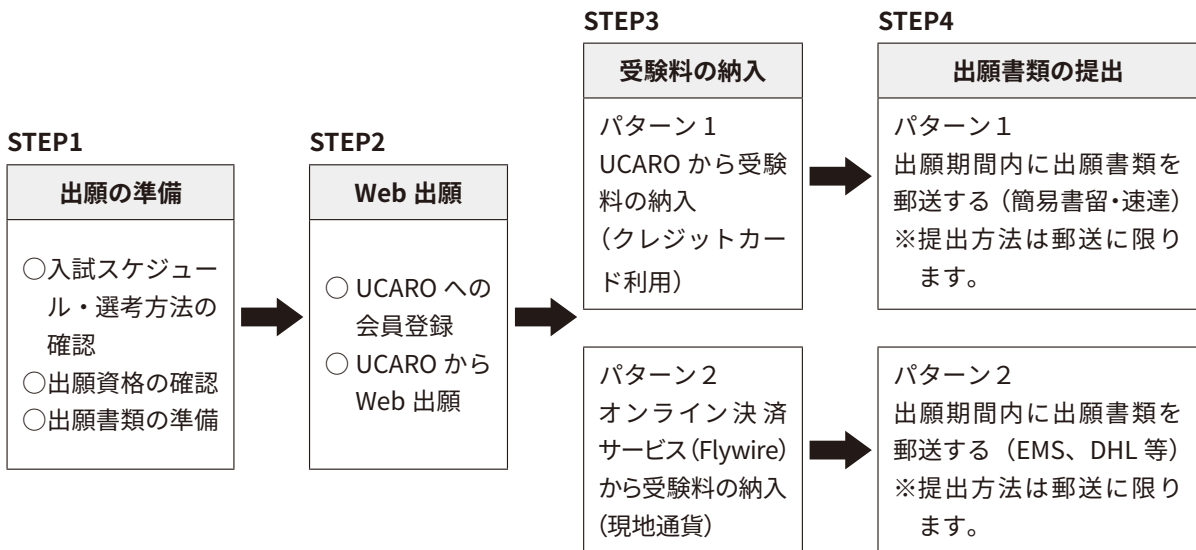
UCAROについては、本学Webサイトの入試情報にある「UCAROマニュアル」（日本語Ver./英語Ver.）をご参照ください。

〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/>

日本国内居住者



日本国外居住者



※詳細は、入学試験要項（25ページ～26ページ）を確認してください。

目 次

龍谷大学入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	2
募集人員（9月入学）	5
外国人留学生入試スケジュール（9月入学）	6
選考方法	7
■ 正規留学生 大学1年次入学 学科試験方式	10
■ 正規留学生 大学院 学科試験方式	13
■ 正規留学生 大学院 書類審査方式	16
■ 特別留学生 学科試験方式	24
共通事項	
Web出願	25
受験料・納入方法	25
出願書類のダウンロードについて	26
出願書類送付先	26
受験票の印刷	26
感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について	26
合格発表	26
入学手続	27
自然災害等による災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置	27
授業料等返還制度	27
注意事項	28
不正行為	29
学費等	30
奨学金制度について	31
お問い合わせ先一覧	34
国籍コード一覧	35
2025年度 9月入学 外国人留学生入学試験結果・日本留学試験合格者最低点	36

大 学 案 内

1639年に創立された龍谷大学は日本で最も伝統ある大学のひとつであり、現在3つのキャンパスに10学部、11研究科および短期大学部を擁する総合大学です。約21,000名の学生のうち留学生は約680名です。特に国際学部では1学年に30名の留学生定員を設け、積極的に留学生を受け入れています。また創立以来の歴史と伝統に加え、革新的材料・プロセス研究センター、古典籍・文化財デジタルアーカイブ研究センターなど、最先端の研究施設を設置し、広い視野をもつ国際人の養成につとめています。

奨学金・授業料減免

龍谷大学外国人留学生学費援助奨学金制度（学部1年生対象）や外国人（留学生）特別奨学金制度を実施しています。このほか本学独自の奨学金、文部科学省、地方自治体、民間団体等の各種奨学金に応募することができます（詳細は31ページを参照してください）。

在留資格認定証明書の代理申請

出願時点で国外在住の出願者であり、経費支弁者や親族などの代理人が日本国内にいない場合、経費の自己負担が可能であり、かつ所定の証明書にてそのことを証明できる留学生に限り、大学が1回のみ代理申請します。代理申請を希望される場合は必要な資料を出願時にご提出ください（詳細は別冊「入国・在留資格に関する手続」を参照してください）。

留学生宿舎

現在本学の留学生宿舎は2カ所あり約175人が入居できます。これらの宿舎には日本人の学生がレジデント・サポーターとして入居し、生活・学習などについて助言しています。留学生宿舎の入居については、合格者宛にUCARO上でお知らせします。

外国人留学生の在留資格について

本学の外国人留学生が、龍谷大学外国人留学生学費援助奨学金等を申請するためには「出入国管理及び難民認定法」における「留学」の在留資格を有する必要があります。その他の在留資格（「日本人の配偶者等」「定住者」など）により滞在する場合は、龍谷大学外国人留学生学費援助奨学金、留学生対象奨学金（学習奨励費）等を受けられませんのでご注意ください。

■各学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）は、龍谷大学入試情報サイトに掲載しています。
https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/pdf/2026_policy.pdf



■各研究科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

○法学研究科

<修士課程>

修士課程では、広い視野に立った深い学識と専攻分野における研究能力を育むことを通じて、研究者及び高度の専門性を要する職業人に必要な能力を涵養するという目標に照らして、次のような人を求めている。

- 大学における4年間の学修によって獲得された一般的教養と専門的教養の基礎の上に、さらに深い学識を得て、研究者及び高度の専門性を有する職業人になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職業上の実践にその専門性を発揮したいと考える人
- 世界と地域において協働を育み、共生（ともいき）社会の発展のための理論構築や実践を進めたいと考える人

<博士後期課程>

博士後期課程では、専攻分野において自立して研究活動を遂行し、職務を実践することができる研究者及び高度な専門知識を有する専門職業人の養成をめざして、次のような人を求めている。

- 修士課程における学修により培われた深い学識と研究能力を基礎に、専攻分野において自立して研究活動を遂行できる研究者になりたいと考える人
- 専攻分野における研究を進め、高度の専門性を要する職務の実践においてその専門性をいかして、職務上の課題を発見し、問題を解決する能力を獲得したいと考える人
- 現代社会が抱える複雑な諸問題について、その課題を発見、分析、解決し、具体的な解決案を提示して、世界、地域の構成員と協働して、現実の問題を解決することができるようになりたいと考える人

○経済学研究科

<修士課程>

修士課程では、研究者に求められる世界に対する理解と理論構築や応用分析の能力を養い、あるいは高度職業人に必要とされる高邁な理想と学問的知識に裏打ちされた実践能力を育てることを目指しており、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献することを志し、受験資格を満たし、強い勉学意欲と、潜在力を持つ人
- 国際水準の研究あるいは高度な実務能力を持つエコノミストたらしめる人
- 公共的な活動（公的部門・営利部門あるいは非営利部門を問わない）においてリーダーを目指す人
- 活発で刺激的な学習環境をつくるため、経済学既習者以外にも門戸を開き、多様なバックグラウンドを持つ人を歓迎する

<博士後期課程>

博士後期課程では、国際水準の研究をおこなう研究者の養成を通じて、世界と地域社会の平和と発展に貢献することを目的とし、次のような人を求めている。

- 世界と地域社会の平和と発展に貢献する意思のある人
- 世界に対する深い理解を持つ人
- 理論的知識と応用分析の基礎的な能力を持つ人
- 国際水準の研究を実現する潜在力のある人

○先端理工学研究科

<博士後期課程>

数理・情報科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して数理・情報科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度な知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

知能情報メディアコース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して知能情報メディア分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

電子情報通信コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して電子情報通信分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

機械工学・ロボティクスコース

博士後期課程では、自立して研究活動を行うのに必要な高度の研究能力と専門知識を用いて、社会の発展に寄与できる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 機械工学・ロボティクス分野における専門領域および周辺領域の高度な知識を修得している人
- 自立して機械工学・ロボティクス分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 科学技術の発展に貢献できる研究者や世界的な活躍を目指している人

応用化学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して応用化学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

環境科学コース

博士後期課程では、修得したさらに高度な専門知識と周辺分野での知識を活用して社会に貢献すると共に、科学技術のあるべき道に導くことができる人材の養成を目指す。

このような観点から、次のような人を求めている。

- 自立して環境科学分野における専門領域の研究活動を積極的に行うことができる人
- 専門分野および周辺分野についての高度の知識を持っている人
- 科学技術の発展に大いに貢献できる研究者を目指している人

○国際学研究科

◇国際文化学専攻

<修士課程>

相互依存が一層著しく進む現在の世界が直面する諸課題に対して、文化という観点から批判的に研究を遂行し、その研究で得られた知見を国際社会のなかで専門的かつ実践的に発揮できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的な視点に立脚し、各自の専門性を活かした職業を担うために、国際文化研究の領域において意欲的に研究を進めようとする人
- 日本、共生社会、言語文化、宗教文化、芸術・メディアなどに関するテーマを、国際的な視野に基づく学問の理論と方法論で研究することを目指す人
- 国際社会で自らの専門性や実践能力を示そうと志す人

<博士後期課程>

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、国際文化学の発展に貢献できる人材、多文化の共生する社会の実現に向けて学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- 国際的および学際的な視点に立脚するとともに、自らの専門的知識に基づいて、国際文化研究の領域における新たな知の地平を切り開こうとする人
- 大学院修士課程までの研究において、基礎的研究能力をすでに有していることを示せる人
- これまで十分解明されていない論点について、独自の学術的貢献を果たしたいという意欲を持つ人

◇グローバルスタディーズ専攻

<修士課程>

グローバル社会の複雑な諸問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、高い語学力や専門知識だけでなく、対話力、分析力・考察力、課題探求力といったグローバル人材に不可欠な資質能力を養い、将来、国際的な課題の解決や豊かな社会の創造に貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル化が急速に進展し、世界のさまざまな問題が一層複雑化するなかで、そのような諸課題の原因究明と解決方法の提案に向けて、意欲的に研究しようとする人

- 大学院研究科での研究を通じて、深い専門的知識、高い語学力や対話力、分析力や考察力といった課題探求力を培い、リーダーシップを発揮して国内外の社会において活躍したい人

<博士後期課程>

修士課程で身に付けた深い学識と研究能力、フィールドワークや研究遂行の過程で得た知見・技能・経験・高い外国語能力を土台とし、独創的で高度な水準の研究を行うことのできる自立した研究者、国内外の研究機関で活躍し、グローバルな舞台においてリーダーシップを発揮できる人材、グローバル化する国際社会の抱える諸問題の解決に学術的・実践的な側面から貢献できる人材を養成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻および言語コミュニケーション専攻の専門性を踏まえて、特に次のような人を求める。

- 大学院修士課程において関連分野の幅広い専門知識を修得するとともに、高度な学術的研究を行うために必要な自律的・主体的研究力を有している人
- 独自の視点から研究テーマを設定し、テーマの背景にある原因の究明と解決方法の提案に向けて意欲的に研究し、独自の学術的貢献を果たしたいという強い意欲を持つ人
- 大学院研究科での研究を通じて、高い語学力および深い専門的知識を培い、国内外の社会において研究者としてまた高度の専門的職業人として活躍したい人

◇言語コミュニケーション専攻

<修士課程>

グローバル社会における言語コミュニケーションに関連する問題に関して深い問題意識をもって研究を遂行することによって、相互に関連を深める国際情勢を複眼的な視点から総合的・大局的に分析し、問題解決に向けて高い英語力・対話力をもって積極的に行動できるリーダーを育成する。

そのため、次のような関心・目標等を持った人材を受け入れる。

- グローバル社会において、高い語学力・対話力をもってリーダーシップを発揮して活躍すると同時に、他者に対する理解力や寛容さあるいは柔軟性と批判的精神をもって、相互理解や多文化理解を積極的に推進したい人。
- 大学院研究科での研究を通じて、言語コミュニケーションに関わる専門的知識や技能を培い、将来、中学校・高等学校英語教員（専修免許）、通訳・翻訳者などの高度の専門的職業人、あるいは研究者として、国内外の社会に貢献したい人

研究科共同運営コース

<地域公共人材総合研究プログラム（法学研究科・政策学研究科）（修士課程）>

「学位授与の方針」で、概略①協働型社会の担い手に必要な実践的、実務的能力、②世代・職業分野をこえてコミュニケーションできる能力、③地域社会の潜在的力を引き出す分析能力と提言能力をもった人の養成を明示しており、この観点から、次のような人を求めている。

- 協働型市民社会の担い手として、理論と実務を学び、地域社会の変革につなげたいと考える人
- 協働型市民社会を構成する人々がもつ多様な価値観の存在を意識し、多角的な視野をもち地域の課題に取り組む能力を身につけたいと考える人
- 専門に関わる経験あるいは知識をもち、理論と実務をつなぐ学修、研究環境において自ら能力を伸ばしたいと考える人
- 政策学に関する基礎的な知識や多角的に分析できる思考力を有する人
- 協働型社会に関する基礎的な知識等を有する人

○政策学研究科

<修士課程>

修士課程では、社会の持続可能な発展に貢献し、地域がかかえる具体的課題を解決することができる政策能力の修得を通じて、協働型社会を担う高度の専門的職業人や研究者を養成するため、次のような人を求めている。

- 人類的及び地域的課題の解決に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献するために政策学を研究したいと考えている人
- 公共政策分野における高度の専門的職業人をめざす人、及び広く公共政策に関わる業務に携わりより専門性の高い能力を修得したいと考えている人
- 地方自治体やNPO、企業等で働きながら、政策学を研究したいと志望する人
- 職場でのキャリアアップをはかり、実務の現場で必要なコミュニケーションやファシリテーションのスキル修得に高い関心を持っている人
- 政策学に関する基礎的な知識や多角的に分析できる思考力を有する人

募 集 人 員 (9月入学)

◆学部

募集学部・学科		募 集 人 員	
学部	学科	正規留学生（1年次入学）	特別留学生
		学科試験方式	学科試験方式
法 学 部	法 律 学 科	5名※1	若干名
国 際 学 部	国 際 文 化 学 科	30名※2	若干名

※1 外国人留学生（4月入学）の募集人員を含みます。

※2 外国人留学生（4月入学）、帰国生徒特別（4月入学、9月入学）、中国引揚者等の子特別入試の募集人員を含みます。

◆大学院修士課程・博士後期課程

募集研究科・専攻		募 集 人 員				
研究科	専攻	正規留学生				特別留学生
		修士課程		博士後期課程		修士課程
		試験種別		試験種別		試験種別
		学科試験方式	書類審査方式 <small>※学科試験を課しません。</small>	学科試験方式	書類審査方式 <small>※学科試験を課しません。</small>	学科試験方式
法 学 研 究 科	法 律 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名
経 済 学 研 究 科	経 済 学 専 攻	若干名	若干名	若干名	若干名	—
先 端 理 工 学 研 究 科	先 端 理 工 学 専 攻	—	—	若干名	若干名	—
	数 理 ・ 情 報 科 学 コ ー ス					
	知 能 情 報 メ デ ィ ア コ ー ス					
	電 子 情 報 通 信 コ ー ス					
	機 械 工 学 ・ ロ ボ テ ィ ク ス コ ー ス					
専 攻	応 用 化 学 コ ー ス					
	環 境 科 学 コ ー ス					
国 際 学 研 究 科	国 際 文 化 学 専 攻	—	若干名	—	若干名	—
	グ ロー バ ル ス タ デ ィ ー ズ 専 攻	—	若干名	—	若干名	
	言 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 専 攻	—	若干名	—	—	
政 策 学 研 究 科	政 策 学 専 攻	若干名	—	—	—	—

外国人留学生入試スケジュール（9月入学）

◆学部

学部	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査結果通知	2次審査日試験会場	合格発表日	入学手続期間（納入金）
法学部	正規留学生1年次	学科試験方式	国外：2026年 4月15日(水) ～4月24日(金) <締切日必着> 国内：2026年 5月4日(月・祝) ～5月13日(水) <締切日消印有効>	国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 深草キャンパス	2026年 6月27日(土)	2026年 6月27日(土)～ 7月3日(金)まで 一括納入 ※国外居住者は 7月10日(金)まで
	特別留学生						
国際学部 国際文化学科	正規留学生1年次						
	特別留学生						

◆大学院修士課程

研究科	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査結果通知	2次審査日試験会場	合格発表日	入学手続期間（納入金）
法学研究科	正規留学生	書類審査方式	国外：2026年 4月15日(水) ～4月24日(金) <締切日必着> 国内：2026年 5月4日(月・祝) ～5月13日(水) <締切日消印有効>	—	—	2026年 6月27日(土)	2026年 6月27日(土)～ 7月3日(金)まで 一括納入 ※国外居住者は 7月10日(金)まで
	特別留学生	学科試験方式		国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 深草キャンパス		
経済学研究科	正規留学生	学科試験方式		—	—		
		書類審査方式		国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 深草キャンパス		
政策学研究科	正規留学生	学科試験方式					
国際学研究科	正規留学生	書類審査方式 ※国外居住者のみ		—	—		

◆大学院博士後期課程

研究科	学生種別	試験種別	出願期間	1次審査結果通知	2次審査日試験会場	合格発表日	入学手続期間（納入金）
法学研究科	正規留学生	書類審査方式	国外：2026年 4月15日(水) ～4月24日(金) <締切日必着> 国内：2026年 5月4日(月・祝) ～5月13日(水) <締切日消印有効>	—	—	2026年 6月27日(土)	2026年 6月27日(土)～ 7月3日(金)まで 一括納入 ※国外居住者は 7月10日(金)まで
		学科試験方式		国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 深草キャンパス		
経済学研究科	正規留学生	学科試験方式		—	—		
		書類審査方式		国外： 出願締切日から 約3週間後 国内： 2次審査日の 約1週間前	2026年 6月13日(土) 龍谷大学 瀬田キャンパス		
先端理工学研究科	正規留学生	学科試験方式					
		書類審査方式 ※国外居住者のみ					
国際学研究科	正規留学生	書類審査方式 ※国外居住者のみ		—	—		

選考方法

◆学部（正規留学生）

1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験）を実施します。

1次審査（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	（国内から出願する場合） 受験資格を有すると認められた場合は、UCAROにて受験票が発行されます。 2次審査の際に必ず 受験票を持参してください 。受験票の印刷については26ページの「受験票の印刷」をご確認ください。 （国外から出願する場合） 受験資格を認められた場合は、メールにて「受験許可証」を送付いたします。「受験許可証」では、受験にかかる事前準備についても案内いたします。必ず確認してください。

※受験資格が認められなかった場合は、別途大学よりUCAROに登録されたメールアドレス宛に連絡いたします。
登録された連絡先について確認できる状態にしておいてください。

2次審査

学 部	試験会場	説明・書類記入	面 接※	備 考
法 学 部	龍谷大学 深草キャンパス	10:10～10:30	10:30～	試験室は当日掲示します。 試験開始後30分以上遅刻した者は、 受験できません。
国 際 学 部 国 際 文 化 学 科 (指定校推薦者含む)				

※国外居住者は、2次審査の面接をオンラインで実施いたします。

面接開始目安時間は、試験日10日前までにメールで連絡いたします。

面接開始目安時間から10分経っても接続されなかった場合、受験を認めないことがあります。

合否判定：日本留学試験の成績・面接および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席（日本留学試験の各学部の定める科目の未受験を含む）した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

国際学部指定校推薦者は、面接および出願書類を総合して、合否を判定します。

科目・配点	学 部	科 目	配点及び換算※	
	法学部		日本留学試験「日本語」	100
		日本留学試験「総合科目」	100	200点を100点に換算
		面接	200	—
国際学部		日本留学試験「日本語」	100	450点を100点に換算
		日本留学試験「総合科目」又は「数学（コース1）」	50	200点を50点に換算
		面接	100	—

※点数換算における小数点は切り上げとします。

◆学部（特別留学生）

1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験）を実施します。

1次審査（受験資格審査）

審査内容	正規留学生（学科試験方式）に準じます。
結果通知	正規留学生（学科試験方式）に準じます。

2次審査

学部	試験会場	説明・書類記入	面接
法学部 国際学部 国際文化学科	龍谷大学深草キャンパス	10:10～10:30	10:30～

試験室は当日掲示します。

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

合否判定：上記試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

◆大学院（正規留学生）

学科試験方式

1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験※）を実施します。

※先端理工学研究科については口述試験

1次審査（受験資格審査）

審査内容	出願書類に基づき受験資格の有無を審査します。 受験資格を有すると認められた場合のみ2次審査を受験できます。
結果通知	受験資格を有すると認められた場合は、UCAROにて受験票が発行されます。 2次審査の際に必ず 受験票を持参してください 。受験票の印刷については26ページの「受験票の印刷」をご確認ください。 国外居住者で受験資格を認められた場合は、メールにて「受験許可証」を送付いたします。 入国に必要な査証申請について、各自で手続を行ってください。 なお、査証審査に時間を要することがありますので、ご注意ください。

※受験資格が認められなかった場合は、別途大学よりUCAROに登録されたメールアドレス宛に連絡いたします。
登録された連絡先について確認できる状態にしておいてください。

2次審査

研究科	試験科目・試験時間		備考
法学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	口述試験 (出願書類・小論文を主としたもの) 10:45～
	博士後期課程		口述試験 (修士論文を主としたもの) 10:45～
経済学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	日本語による小論文 9:00～10:15
	博士後期課程		日本語による小論文 ※国費留学生は免除 9:00～10:30
先端理工学研究科	博士後期課程	説明・書類記入 12:40～13:00	口述試験 修士論文ならびに今後の研究計画に関する口述試験 (日本語または英語にて実施) 13:00～
政策学研究科	修士課程	説明・書類記入 8:40～9:00	口述試験 (出願書類・小論文を主としたもの) 10:45～

合否判定：学科試験・口述試験および出願書類を総合して、合否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、合否の判定対象となりません。

書類審査方式

出願書類等を総合的に判断して可否を判定します。

※ビデオ通話により教員から研究内容などの確認を行うことがあります。Web出願時に本学と連絡を取ることができるメールアドレスを登録してください（国際学研究科言語コミュニケーション専攻出願者のみ）。

◆大学院（特別留学生）

1次審査（受験資格審査）および2次審査（学科試験）を実施します。

1次審査（受験資格審査）

審査内容	正規留学生（学科試験方式）に準じます。
結果通知	正規留学生（学科試験方式）に準じます。

2次審査

研究科	試験会場	説明	口述試験
法学研究科	龍谷大学深草キャンパス	10:25～10:45	10:45～

試験室は当日掲示します。

試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。

可否判定：上記試験および出願書類を総合して、可否を判定します。1科目でも欠席した場合は、その試験日を欠席扱いとし、可否の判定対象となりません。

正規留学生 大学1年次入学 学科試験方式

正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、学部卒業を目的として入学する者です

出願資格

法学部 国際学部国際文化学科	<p>外国の国籍を有する者で、本学が定める日本留学試験（日本学生支援機構）を受験しており、次の①～⑦のいずれかに該当する者（ただし、国際学部指定校推薦者は日本留学試験（日本学生支援機構）の受験を求めない）。</p> <p>①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（修了見込みの者）。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。） ※「外国において、学校教育における12年の課程を修了した者」とは、「外国の正規の学校教育における12年目の課程を修了した者」という意味です。</p> <p>②外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した18歳以上の者。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）</p> <p>③外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者（修了見込みの者）。</p> <p>④日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（修了見込みの者）。（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）</p> <p>⑤外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベル、国際Aレベル資格、欧州バカロレア資格を保有する者。</p> <p>⑥国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI、NEASC、Cognia、COBIS）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者（修了見込みの者）。</p> <p>⑦本学学部教授会が同等の資格を有すると認めた者。</p>
--------------------------	--

（注）本学の講義は日本語で行われますので、講義が理解できるだけの日本語能力が必要です。

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

① 入学願書（本学所定用紙）

出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

② 卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）

高等学校の卒業証明書・成績証明書を提出してください。

日本の大学に入学するための準備教育課程（文部科学大臣指定）を修了もしくは修了見込みの者は、修了（見込み）証明書も提出してください。

なお、学士またはそれ以上の学位の取得者で、その学位取得証明書を提出する場合、高等学校の卒業証明書・成績証明書の提出は不要です。

注意事項

- ① 卒業（修了）見込みの場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 大学等の高等教育機関に在学中の場合、**在学証明書**を提出してください。
- ④ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという翻訳証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑤ 証明書の**コピーは一切不可**です。
- ⑥ 「**公証書**」は不可です。

(3) 「日本留学試験」(日本学生支援機構) 成績確認書

各学部の定める「日本留学試験」のうち、いずれか1つを選んで提出してください。複数試験の提出や出願後の追加提出・変更は認めません。

各学部の定める科目をすべて受験してください。

国際学部指定校推薦受験者は不要です。

学 部	学部の定める「日本留学試験」	学部の定める受験科目
法学部	2024年度第1回(6月実施) 2024年度第2回(11月実施)	・日本語(記述問題を含む) ・総合科目
国際学部国際文化学科	2025年度第1回(6月実施) 2025年度第2回(11月実施)	・日本語(記述問題を含む) ・総合科目又は数学(コース1)

(4) 学校長推薦書(本学所定用紙)(国際学部指定校推薦者のみ)

指定校の学校長によるものに限ります。なお、指定校推薦については専願制となります。

(5) 住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

在留期間満了日が試験実施日より前である場合は、在留期間更新手続中であることを確認できる「在留カード(両面コピー)」等を、住民票とあわせて提出してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(6) オンライン面接に関する誓約書(本学所定用紙)(国外居住者のみ)

※ボールペン(黒)または万年筆で記入してください。

※記入日及び本人氏名を記入してください。

オンライン面接における注意事項(国外居住者のみ熟読してください)

〈事前準備〉

次のことに注意してオンライン面接の準備をしてください。

- (1) 本学Webサイトよりダウンロードのうえ、「オンライン面接に関する誓約書(本学所定用紙)」(提出必須)やオンライン面接システムのマニュアルの内容を必ず確認してください。
- (2) Webカメラおよびヘッドホン(イヤフォン)、マイクは各自でご用意ください。
(PCなどの付属カメラ、マイクの使用も可)スピーカーは使用しないでください。
- (3) 試験当日、同室に他の人がいない個室で受験できるようにしてください。
- (4) オンライン面接マニュアルに記載の手順にて、事前にオンライン接続テストを行ってください。また、事前接続テストは試験当日に使用する環境で実施してください。
- (5) **事前接続テストを実施せず、試験当日URLにアクセスできなかった場合は、欠席とします。期間内に必ず実施してください。**
- (6) PCメールアドレスをご用意ください。オンラインでの面接試験実施に伴い、事前情報送付のためにEメール(PCメール)を使用します。
※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かない、迷惑メールに分類される可能性があるため、@ad.ryukoku.ac.jp、@adm.ryukoku.ac.jp、@harutaka.jpを受信可能なドメインとして必ず設定してください。
- (7) 出願書類及び受験料支払いで記載するメールアドレスについて、記載に誤りがないようにご注意ください。

〈試験当日〉

- (1) 事前に通知する「面接開始目安時間」の5分前に面接URLを入力し、面接ルームに入室して待機してください。
※面接試験開始時間が多少前後する場合があります。
※当日使用する機器を電源に接続し、面接ルーム以外のWebページ・アプリを閉じた状態で待機してください。
※機器は1つのみ使用し、併用は禁止です。
- (2) 「面接開始目安時間」から10分経っても接続されなかった場合、受験を認めないことがあります。
- (3) 公平な試験実施のため、本学側で録画を行います。受験生側での撮影・録音・録画・他所へのオンライン等による中継、試験内容のメモ等は一切禁止とします。
- (4) 試験時間中は、バーチャル(仮想)背景の使用は禁止とします。
- (5) 以下の行為は不正行為とみなし、発覚した場合には受験を無効とする場合があります。
 - ①試験時間中に途中退出すること。
 - ②試験時間中に面接官が指示する以外のパソコン、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の操作(インターネットでの検索等)を行うこと。
 - ③同室内に複数名で受験すること。

- (6) 試験当日、大学側から連絡を行う場合がありますので、入学願書に記載した電話・メールアドレスおよび受験料納入の際に記入した連絡先について確認・返答できる状態にしておいてください。
(携帯電話・スマートフォンは、試験中はマナーモードにして手元から離れたところに置き、有事の際の連絡以外には使用できない状態にしておくこと。)
- (7) その他受験する本人の環境不備により、試験に不具合が生じた場合は、試験開始予定時刻から30分以内に本学入試部（TEL：075-645-7887）までご連絡ください。万が一、電話が繋がらない場合はメールにてご連絡ください（Email：nyushi-jisshi@ad.ryukoku.ac.jp）。
なお、試験終了後にご連絡いただいた場合には試験の実施が成立しない可能性があります。あらかじめご了承ください。

正規留学生 大学院 学科試験方式

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

出願資格

修士課程	<p>法学研究科・経済学研究科・政策学研究科</p> <p>外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者 ○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。） ○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。） ○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者 ○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。 <p>*経済学研究科では、上記に加え、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特別留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。但し、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消します。</p>
博士後期課程	<p>法学研究科・経済学研究科</p> <p>外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み含む）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）</p> <p>先端理工学研究科</p> <p>次の①から③すべてに該当する者。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込みの者）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者） ②一定の日本語もしくは英語の能力を有する者 ③国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者 <ul style="list-style-type: none"> ○自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者 ○外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。） ○外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者 ○日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。） ○外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者 ○国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

注．本学大学院の各研究科委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

(1) 入学願書（本学所定用紙）

必ず出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

(2) 卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）

卒業証明書および成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

- ① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

博士後期課程出願者

- ① 出身大学の卒業証明書・成績証明書
- ② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

- ① 卒業（修了）見込の場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。その場合、卒業（修了）後、必ず卒業（修了）証明書を入学手続き時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合は、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」(<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>)へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合は、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。
※「教育部學歷證書電子注冊備案表」または「教育部学籍在線驗證報告」は有効期限が試験日よりも後であるものに限りません。
- ④ 「公証書」は不可
- ⑤ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容が相違ないという証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑥ 証明書のコピーは一切不可です。

(3) 語学に関する書類

法学研究科、経済学研究科、政策学研究科の場合

「日本語能力認定書（本学所定用紙）」を提出してください。

以下のどちらかに該当する場合は、本学所定用紙の日本語能力認定書は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N 1 受験者（2023年4月1日以降に受験したものに限り）
→本学所定用紙に代わり「日本語能力試験」N 1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）を提出してください。
- ・日本の4年制大学卒業生（2026年9月卒業見込者を含む）

先端理工学研究科の場合

以下のどちらかを提出してください。ただし、日本の4年制大学卒業生または、日本の大学院修士課程修了者は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N 1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）
- ・iBT80以上を証明出来るTOEFL®の成績表（コピー不可）

※2023年4月1日以降に受験したものに限り。

(4) 推薦書（本学所定用紙 様式B）（経済・先端理工出願者のみ）

経済学研究科の場合

最終出身学校の学校長（学長）または出願者の学力に詳しい教員（日本語学校教員も可）によるものに限ります（推薦者が厳封のこと）。

出願時に本学に在学中の外国人留学生は提出不要です。

先端理工学研究科の場合

本研究科専任教員による修士課程修了相当の学力認定を含むもの、および該当する本人の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者（2名以上）によるもの各1通、合計3通以上。※日本語もしくは英語

(5) 住民票の写し

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

在留期間満了日が試験実施日より前である場合は、在留期間更新手続中であることを確認できる「在留カード（両面コピー）」等を、住民票とあわせて提出してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

(6) 経費支弁に関する書類（先端理工学研究科出願者のみ）

国費留学生奨学金等の採用証明書（コピー可）、または3ヶ月以内に発行された銀行の残高証明書（130万円以上、コピー不可）

(7) 研究計画書（本学所定用紙）

(8) 修士論文（コピー）・修士論文要旨

博士後期課程への出願者は以下の要領で提出してください。

法 学 研 究 科	修士論文の要旨および修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿） ※ただし公刊論文がある場合はそれを添付することができる。
経 済 学 研 究 科	修士論文のコピー（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）あるいはそれに相当する学術論文
先端理工学研究科	修士論文のコピーまたは修士論文に相当する学術論文（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）を提出してください。 ※日本語による要旨（1,600字程度）、または英語による要旨（800words程度）を併せて提出してください。

修士論文（コピー）は、仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

正規留学生 大学院 書類審査方式

大学院正規留学生とは、外国の国籍を有する者で、外国において所定の課程を履修し、大学院の修了を目的として入学する者です

法学研究科

【修士課程】

以下の出願資格(1)もしくは(2)に該当する者、または本学法学研究科委員会が認めた者

出願資格(1)

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 出願者の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者2名（うち1名以上は本研究科専任教員）の推薦を得られる者

出願資格(2)

次の①から④のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
- ② 日本語能力試験N 1 に合格した者（2023年4月1日以降に受験したものに限る）
- ③ 日本国外に居住している者
- ④ 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得られ、推薦機関長及び出願者の学力に詳しい大学教員による計2名の推薦を得られる者

【博士後期課程】

出願資格

次の①から③のすべてに該当する者、または本学法学研究科委員会が認めた者

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（得る見込みの者）
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 出願者の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者2名（うち1名以上は本研究科専任教員）の推薦を得られる者

- ※
- 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

経済学研究科

【修士課程】

以下の出願資格(1)もしくは(2)に該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者

出願資格(1)

次の①から③のすべてに該当する者。

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
 - 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

出願資格(2)

次の①から④のすべてに該当する者。

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（修了見込みの者）
 - 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEAレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。
- ② 日本語能力試験N 1に合格した者（2023年4月1日以降に受験したものに限り）
- ③ 日本国外に居住している者
- ④ 本学と交流協定を締結している機関から推薦を得られ、推薦機関長及び出願者の学力に詳しい大学教員による計2名の推薦を得られる者

注1 経済学研究科では、外国における15年間の教育課程（中国3年制大学卒業を含む）を修了した者が、本学経済学部の特別留学生として1年間在籍し、32単位以上を履修した場合に限り、出願資格を認めています。但し、入学までに32単位以上を取得しなかった場合は入学許可を取り消すことがあります。

注2 経済学研究科修士課程出願資格(1)の選考については、日本語能力を不問としています。ただし、経済学研究科における英語による授業の開講は限定的なものであり、全科目の履修を保証するものではありません。したがって、推薦者と十分相談の上、修了要件を満たせる履修計画が立てられることを確認の上、出願してください。なお、経済学研究科では、日本語、英語以外の授業には対応していません。

【博士後期課程】

出願資格

次の①から③のすべてに該当する者、または本学経済学研究科委員会が認めた者。

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（得る見込みの者）
- ② 文部科学省等の公的機関から、国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ③ 本研究科専任教員を含め、本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上の推薦を得られる者

- ※
- 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

*博士後期課程の選考については、日本語能力を不問としています。ただし、経済学研究科における英語による授業の開講は限定的なものであり、全科目の履修を保証するものではありません。したがって、推薦者と十分相談の上、修了要件を満たせる履修計画が立てられることを確認の上、出願してください。

なお、経済学研究科では、日本語、英語以外の授業には対応していません。

先端理工学研究科

【博士後期課程】

出願資格

次の①から⑤のすべてに該当する者、または本学先端理工学研究科委員会が認めた者。

- ① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み）し、かつ高等教育機関で修士の学位を得た者（修了見込みの者）
- ② 一定の日本語もしくは英語の能力を有する者
- ③ 国費留学生奨学金またはこれに準ずる経費支弁を受けられる者
- ④ 本研究科専任教員と、本人の学力に詳しい大学教員、またはそれに準ずる研究者の推薦を得られる者
- ⑤ 出願時に日本国外に居住している者

- ※
- 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

国際学研究所

【修士課程】

出願資格

<国際文化学専攻>

国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の①から③のすべてに該当する者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）、または大学の学部と同等の教育機関を修了した者（見込みの者）
 - 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。
- ② 日本語能力試験N1に合格した者（2023年4月1日以降に受験したものに限り）
- ③ 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者

*本学国際学研究所委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

<グローバルスタディーズ専攻>

グローバルスタディーズ専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の①および②を満たしている者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）
 - 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。
- ② 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

*本学国際学研究所委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

<言語コミュニケーション専攻>

言語コミュニケーション専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の①から③を満たしている者

- ① 外国の国籍を有する者で、学校教育における16年の課程（原則として12年以上の外国における所定の学校教育を含む※）を修了した者（修了見込みの者）
 - 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。
- ② 日本語能力試験N1に合格した者（2023年4月1日以降に受験したものに限り）
- ③ 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい1名以上の推薦を得られる者（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要）

*本学国際学研究所委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

【博士後期課程】

出願資格

<国際文化学専攻>

国際文化学専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）

*本学国際学研究所委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

<グローバルスタディーズ専攻>

グローバルスタディーズ専攻へ出願する場合は、日本国外に居住している者に限ります。

次の①および②を満たしている者

① 外国の国籍を有する者で、外国において所定の学校教育（原則として12年以上の課程※）を修了（修了見込み含む）し、かつ、高等教育機関で修士の学位を得た者（取得見込みの者）

② 本人の学歴、職歴ならびに予定されている研究内容に詳しい2名以上の推薦を得られる者（本学国際学研究所出身者は不要）

- ※
- 自国の教育制度のために高等学校までの教育課程年限が12年に満たない者で、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了した者
 - 外国における12年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程又は研修施設の課程を修了する必要がある。）
 - 外国において、文部科学大臣が指定した11年以上の課程を修了したとされるものであること等の要件を満たす高等学校に対応する学校の課程を修了した者
 - 日本において、外国の高等学校相当として文部科学大臣が指定した外国人学校を修了した者（12年未満の課程の場合は、さらに、文部科学大臣指定の準備教育課程を修了する必要がある。）
 - 外国の大学入学資格である国際バカロレア資格、アビトゥア資格、バカロレア資格、GCEALレベルを保有する者
 - 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた教育施設の12年の課程を修了した者を含む。

*本学国際学研究所委員会が上記出願資格と同等の資格を有すると認めた場合には受験を許可することがあります。

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

(1) 入学願書（本学所定用紙）

必ず出願者本人が日本語で正確に記入してください。

出願者氏名は、住民票またはパスポートに記載されている名前を記入してください。

（グローバルスタディーズ専攻出願者は英語記入可）

(2) 卒業証明書・成績証明書（いずれも原本）

卒業証明書・成績証明書については、以下のとおり提出してください。

修士課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

※国際学研究所出願者で、修士・博士後期課程の修了（見込）者は、修士・博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程満期退学者は、単位修得証明書も提出してください（原本）

博士後期課程出願者

① 出身大学の卒業証明書・成績証明書

② 出身大学院修士課程の修了証明書・成績証明書

※国際学研究所出願者で、博士後期課程修了（見込）者は、博士後期課程の修了（見込）証明書及び成績証明書、博士後期課程単位取得満期退学者は単位取得証明書も提出してください。

注意事項（修士課程・博士後期課程共通）

- ① 卒業（修了）見込の場合、**卒業（修了）見込証明書**を提出してください。その場合、卒業（修了）後、必ず卒業（修了）証明書を入学手続き時に提出してください。
- ② 成績証明書は、**在学期間全ての成績を証明したものを**提出してください。
- ③ 先端理工学研究科出願者は、英語または日本語の言語で発行された証明書を提出してください。
- ④ 中国の大学または大学院を卒業（修了）した場合は、その卒業（修了）証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」（<https://www.chsi.com.cn/xlcx/bgys.jsp>）へ登録してダウンロードした「教育部學歷證書電子注冊備案表」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。
中国の大学または大学院を卒業（修了）見込みの場合は、その卒業（修了）見込証明書に「中国高等教育学生信息网（学信網）」へ登録してダウンロードした「教育部学籍在線驗證報告」のPDFファイルを印刷したものを添付してください。
※「教育部學歷證書電子注冊備案表」または「教育部学籍在線驗證報告」は有効期限が試験日より後であるものに限りません。
- ⑤ 「**公証書**」は不可
- ⑥ 日本語、英語のいずれかの言語で作成された証明書を提出してください。その他の言語の場合は、大使館・領事館、もしくは出身学校や翻訳会社で日本語、英語のいずれかの言語に翻訳し、原文と訳文の内容に相違ないという証明書（公印付のもの）と合わせて提出してください。翻訳証明書の様式は任意です。
- ⑦ 証明書の**コピーは一切不可**です。

(3) 語学に関する書類

法学研究科修士課程出願資格(2)の場合

「日本語能力試験」N1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」

※2023年4月1日以降に受験したものに限りません。

経済学研究科修士課程出願資格(2)の場合

「日本語能力試験」N1日本語能力認定書

※2023年4月1日以降に受験したものに限りません。

先端理工学研究科の場合

以下のいずれかを提出してください。ただし、日本の4年制大学卒業者または、日本の大学院修士課程修了者は不要です。

- ・「日本語能力試験」（公益財団法人日本国際教育支援協会／国際交流基金）N1の合否を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）
- ・iBT80以上を証明出来るTOEFL®の成績表（コピー不可）

※2023年4月1日以降に受験したものに限りません。

国際学研究科修士課程の場合（国際文化学、言語コミュニケーション専攻出願者のみ）

- ・「日本語能力試験」N1の合格を示した「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」（コピー不可）

※2023年4月1日以降に受験したものに限りません。

国際学研究科博士後期課程の場合（国際文化学専攻出願者のみ）

英語・日本語のうち、いずれかの言語の能力を証明するもの。

※国籍に関わらず、どちらの言語も選択できます。

※外部試験の試験日が2023年4月1日以降のものに限りません。

(4) 英語力を示す外部試験のスコア（国際学研究科言語コミュニケーション専攻・グローバルスタディーズ専攻出願者のみ）

修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEIC® L&R 730点、TOEFL iBT® 80点、IELTS™ 6.0のいずれかを満たすスコアを提出してください。

（本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要。）

博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は、TOEFL iBT® 100点、IELTS™ 6.5のいずれかを満たすスコアを提出してください。

※第一言語が英語の者、卒業・修了（見込み）の高等教育における学習言語が英語の者<本学国際学研究科修士課程グローバルスタディーズ専攻及び言語コミュニケーション専攻出身者を含む>は外部試験のスコアの提出は必要ありません。ただし、それを証明する書類の提出を求めることがあります。

※TOEIC® L&R IPテストは含みません。TOEIC® L&R IPオンラインテストは含みません。

※TOEFL®のスコアを用いる場合は、「Official Score Reports（公式スコアレポート）」または「Test Taker Score Report（受験者控用スコアレポート）」のいずれかを提出してください。

※TOEFL iBT®テストはTest Dateスコアに限りません。（「My Best™ scores」は利用できません。）

※外部試験の試験日が、2023年4月1日以降のものに限りません。

(5) **推薦書（厳封されたもの）**

法学研究科修士課程出願資格(1)、または博士後期課程の場合（様式自由）

出願者の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者2名（うち1名以上は本研究科専任教員）による推薦書…各1通 合計2通

※厳封したものを提出してください。

※推薦者の自署または捺印が必要です。

法学研究科修士課程出願資格(2)の場合（様式自由）

推薦機関長及び出願者の学力に詳しい大学教員による推薦書…各1通 合計2通

経済学研究科修士課程出願資格(1)、または博士後期課程の場合（様式自由）

本研究科専任教員を含め、該当する本人の学力に詳しい大学教員、もしくはそれに準ずる研究者3名以上によるもの…各1通 合計3通

※推薦者の自署または捺印が必要です。

経済学研究科修士課程出願資格(2)の場合（様式自由）

推薦機関の長によるものと出願者の学力に詳しい大学教員によるもの…各1通 合計2通

※推薦者の自署または捺印が必要です。

先端理工学研究科博士後期課程の場合（本学所定用紙 様式B）

本研究科専任教員による修士課程修了相当の学力認定を含むもの、および該当する本人の学力に詳しい大学教員またはそれに準ずる研究者（2名以上）によるもの…各1通、合計3通以上。※日本語もしくは英語

国際学研究科の場合（様式自由）

・修士課程／国際文化学・言語コミュニケーション専攻^{*1}

推薦書1名分（様式自由）

本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。

・修士課程／グローバルスタディーズ専攻^{*1}

推薦書2名分（様式自由）

本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。

・博士後期課程／国際文化学・グローバルスタディーズ専攻^{*2}

推薦書2名分（様式自由）

本人の学歴、職歴、ならびに予定されている研究内容に詳しい者が作成し、厳封したものを提出してください。

※1 言語コミュニケーション専攻・グローバルスタディーズ専攻出願者のうち、本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要

※2 本学国際学研究科出身者は不要

(6) **経費支弁に関する書類（先端理工学研究科出願者のみ）**

国費留学生奨学金等の採用証明書（コピー可）、または3ヶ月以内に発行された銀行の残高証明書（130万円以上、コピー不可）

(7) **研究計画書（本学所定用紙）（法学研究科・国際学研究科出願者のみ）**

国際学研究科は以下の提出条件にしたがってください。

[修士課程]

・国際文化学専攻……………日本語1部（本学所定用紙）

・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対应用紙）

・言語コミュニケーション専攻…日本語および英語各1部（本学所定の日本語および英語対应用紙）

希望指導教員（第一、第二志望）を記入してください。

なお、可能な限り事前に当該希望指導教員とコンタクトを取り、研究について相談することを推奨します。

[博士後期課程]

・国際文化学専攻……………日本語または英語1部（本学所定用紙）

（4,000字程度、英語の場合は2,000words程度）

・グローバルスタディーズ専攻…英語1部（本学所定の英語対应用紙）

(8) **研究論文等**

法学研究科（博士後期課程のみ）・経済学研究科（博士後期課程のみ）

日本語または英語による研究論文（A 4サイズ、和文：**12,000字程度**、英文：**5,000words程度**、ワープロ可）

先端理工学研究科

修士論文のコピーまたは修士論文に相当する学術論文（修士課程修了見込の者は修士論文草稿）を提出してください。

仮綴じまたはファイルしたものを提出してください。

論文等の出願書類が本学所定の出願用封筒に封入できない場合は、本学所定の出願用封筒の様式に沿って、市販の封筒にて出願期間に簡易書留・速達で郵送してください。

※日本語による要旨（1,600字程度）、または英語による要旨（800words程度）を併せて提出してください。

国際学研究科

修士課程出願者

大学の卒業論文・卒業研究（未完成の場合は現在作成中のもの）、またはこれまでに作成した学術的なレポートを1点（コピー可・字数制限なし）。なお、新規に作成していただいても構いません。

※国際文化学専攻出願者は、提出する論文等が日本語以外の場合は、日本語の要旨（様式自由、800字程度）も併せて提出してください。

※グローバルスタディーズ専攻出願者は、英語に限ります。

※言語コミュニケーション専攻出願者は、日本語または英語に限ります。

博士後期課程出願者

〈国際文化学専攻出願者〉

次の①および②を提出すること

① 修士論文（コピー）1部（未完成の場合は現在作成中のもの）

なお、修士論文がない場合は、これに準じる論文または著作物（コピー可）

② 修士論文要旨を次の要領にて提出すること。（修士論文がない場合も、これに準じる要旨を提出すること）

日本語の修士論文の場合は、英語による要旨を**400words程度**

日本語以外の修士論文の場合は、日本語による要旨**(800字程度)**

〈グローバルスタディーズ専攻出願者〉

大学院修士課程において作成した英語による修士論文（未完成の場合は、現在作成中の物）、またはこれまでに作成した学術的な英文レポートを1点（文字数制限なし）

(9) **出 願 票**（本学所定用紙）（国際学研究科出願者のみ）

・修士課程グローバルスタディーズ専攻、言語コミュニケーション専攻出願者、博士後期課程グローバルスタディーズ専攻出願者は本学所定の英語対応用紙を提出してください。

・修士課程言語コミュニケーション・グローバルスタディーズ専攻出願者のうち、本学国際学部グローバルスタディーズ学科出身者は不要

・博士後期課程国際文化学専攻、グローバルスタディーズ専攻出願者のうち、本学国際学研究科出身者は不要

(10) **住民票の写し**（法学研究科国内出願者のみ）

日本国内居住者のみ提出してください。「国籍」「在留資格」「在留期間」「在留期間の満了日」「在留カード番号」が記載されるよう、発行元に依頼してください。

在留期間満了日が試験実施日より前である場合は、在留期間更新手続中であることを確認できる「在留カード（両面コピー）」等を住民票とあわせて提出してください。

※世帯については「世帯全員」「世帯一部」のどちらを選択しても構いません。

在留期間更新後、新しい在留カード番号が記載された住民票の写しを試験日前日までに以下まで提出してください。

【提出先】

〒612-8577

京都市伏見区深草塚本町67 龍谷大学 入試部

特別留学生 学科試験方式

特別留学生とは、外国の国籍を有する者で、学部・研究科において特定の科目を履修する目的で入学する者です

出願資格

正規留学生（学科試験方式）に準じます。

詳細は、大学への出願者は10ページ、大学院への出願者は13ページ参照。

出願書類 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

出願学部・研究科	法学部	国際学部 (国際文化学科)	法学研究科
(1) 入学願書 (本学所定用紙)	○	○	○
(2) 卒業証明書・成績証明書 (いずれも原本)	○	○	○
(3) 日本語能力認定書 (本学所定用紙)	○ ※ 2	×	×
(4) 「日本語能力試験」(公益財団法人日本国際教育 支援協会/国際交流基金) N1の可否を示した「日 本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」 (学部出願者のみ) ※2023年4月1日以降に受験したものに限り ます。	○ ※ 2	×	×
(5) 推薦書 (本学所定用紙 様式A) (国際学部国際文 化学科出願者のみ)	×	○	×
(6) 住民票の写し	○	○	○

※ 1 この表に記載されていない書類の提出は必要ありません。

※ 2 「日本語能力認定書」または「日本語能力試験」の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出すること。ただし、「日本語能力試験」の「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」の提出が可能な場合は、それを提出すること。

出願書類の詳細は、正規留学生（学科試験方式）に準じます。詳細は大学への出願の場合10～12ページ、大学院へ出願の場合14～15ページ参照。

在学期間・履修科目数

特別留学生の在籍期間は1年間です。

法学部 国際学部 (国際文化学科)	32単位 (前期16単位・後期16単位) 以上
法学研究科	32単位以上

共 通 事 項

Web出願

UCAROに新規会員登録の上、Web出願を行ってください。

Web出願については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「UCARO 新規会員登録」「Web出願」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

Web出願の「志望情報入力」について、国内居住者と国外居住者で入力先が異なりますので、ご注意ください。

受験料・納入方法

正規留学生受験料 35,000円 特別留学生受験料 10,000円

納入方法・納入期限は次のとおりです。納入された受験料は返還いたしません。

	納入方法	納入期限
国内居住者	①UCAROにて受験料の納入	出願期間内 【厳守】
国外居住者	※次のいずれかの方法で納入 ①UCAROにて受験料の納入（クレジットカード） ②オンライン決済サービス（Flywire）にて受験料の納入（現地通貨）	

①UCAROから納入する方法

本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「Web出願」「受験料の納入」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

- ・クレジットカード、コンビニエンスストア、Pay-easy（ペイジー）対応の銀行ATMまたはインターネットバンキングでの納入が可能です。（ただし、**国外居住者はクレジットカード決済に限る**）。なお、受験料の他に払込手数料が必要になります。
- ・支払期限はWeb出願を行った翌日23時59分00秒（日本時間）までとなります。ただし、出願期間最終日に支払った場合は、当日中の23時59分00秒（日本時間）までとなります。

②日本国外から現地通貨で納入する方法【国外居住者に限る】

以下のURLまたは二次元コードより、「Flywire」の支払いページにアクセスしてください。

【Flywire支払いページ（受験料・入学時納入金専用）】

<https://ryukoku-adm.flywire.com>



画面の説明に従って、支払に必要な情報を入力し、手続を完了してください。

支払金額は、**かならず上記受験料の金額（正規留学生：35,000円／特別留学生：10,000円）**を正確に入力してください。

Flywireでの支払いの場合も手数料が必要です。支払いの際、発生する手数料は支払い者に負担いただきます。支払い方法により手数料が異なります。

また、学生情報の入力ページに、UCARO出願番号を必ず入力してください。

【注意事項】

- ・次のように記載されている支払方法は選択しないでください。本学から請求書の発行はございません。
「A Payment notice/bill/invoice from institution is required」
- ・**Flywireからの支払いは、UCAROでの出願登録後におこなってください。**
- ・必ず出願期間最終日までに支払手続を完了してください。出願期間内に支払手続を完了されたことが確認できない場合は、出願を認めません。
- ・金額の入力誤りには十分注意してください。支払金額が不足している場合は、出願を認めません。
- ・Flywireでの認証が完了せず支払手続が完了しなかった場合など、支払金額を本学にて受け取りできなかった場合は、出願を認めません。
- ・上記のURLおよび二次元コードは、本入学試験の出願および入学手続のための専用ページです。入学後の学費等の支払いには使用できません。

出願書類のダウンロードについて

出願書類のうち、本学所定用紙については、本学Webサイトよりダウンロードしてください。

〈URL〉 <https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/foreign/>

1. 学部・大学院研究科、試験種別により出願書類が異なります。
出願する学部・研究科、試験種別の指定する書類を提出してください。
2. 所定の出願書類の他に、出願資格によっては、適宜必要書類の提出を求めることがあります。
3. いったん提出された出願書類は、返却しません。
ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として2次審査日（書類審査方式の場合は合格発表日以降）に返却します。
2次審査がオンラインの場合は、郵送にて返却します。



出願書類送付先

出願書類は、必要なものを全て揃えて提出してください。

出願者の責に帰さない事由により出願期間内に提出できない書類がある場合は、必ず出願期間内までに、龍谷大学入試部へ連絡してください。事前に相談がなく、出願書類に不備があった場合は受験を認めません。

【日本国内から出願する場合】

〒604-8799 中京郵便局留「龍谷大学入学願書受付センター」宛

「宛名ラベル」(UCAROよりダウンロード)を貼った市販の封筒(出願書類を折らずに封入できるサイズ)にて、簡易書留・速達で郵送してください。

【日本国外から出願する場合】

〈宛先〉 Ryukoku University Admissions Department (龍谷大学 入試部) Tel 075-645-7887

〈住所〉 67 Tsukamoto-cho, Fukakusa, Fushimi-ku, Kyoto 612-8577, Japan

DHL等の追跡可能な国際宅配便を利用し送付してください。利用する国際宅配便の大幅な遅延が予想される場合は、事前に入試部(TEL: +81-75-645-7887)に連絡してください。出願書類は封筒に封入し、その封筒を国際宅配便の封筒に封入し、上記の住所に送付してください。出願期間最終日の必着です。日本国外から書類を送付する場合は、到着までに数日かかりますので、できるだけ早く送付してください。また、出願書類の大幅な遅延が発生した場合は、出願書類のスキャンデータの提出を求めることがあります。発送前にすべての出願書類のコピーまたはスキャンデータを取っておいてください。

受験票の印刷

受験票は、試験日の1週間前を目途にUCAROにて発行可能となる予定です。試験日の前日までに確認・印刷の上、印刷した受験票を試験当日ご持参ください。

受験票の印刷については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「受験番号照会・受験票の印刷」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

感染症（インフルエンザ等）による受験料返還について

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していない場合、その感染症が他の受験生や監督者に拡がるおそれがありますので、原則として入学試験の受験をご遠慮願います。

学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ・はしか等）にかかり、治癒していないために本学入学試験を欠席する場合は、当該入学試験（欠席日分）にかかる受験料を返還いたしますので、本学HP (<https://www.ryukoku.ac.jp/admission/nyushi/syutsugan/henkan2.html>) で手続きを確認し、各自行ってください。

なお、書類審査方式は、受験料返還の対象となりません。

合格発表

合格発表は、合格発表日にUCARO上で通知いたします。(12:00予定)

合格発表については、本学Webサイト「UCAROマニュアル」の「合否照会」に記載されている説明事項を必ずご確認ください。

入学手続

合格者には、UCARO上で入学手続方法を通知します。

所定の期日までに入学手続（入学時納入金の納入および手続書類の提出）を完了してください。

※入学時納入金の具体的な納入方法については、合格通知とともに通知します。

注：〈日本国内居住者〉の入学希望者は、合格発表後、入学手続と在留期間更新手続を必ず行ってください。また、本学合格後にやむを得ず一時帰国される方は帰国する前に必ず入試部にご連絡ください。

手続期間は6ページの「入試スケジュール」を参照してください。

入学時納入金について

(1) 入学手続期間に入学時納入金（特別留学生は許可料および科目等履修料）を一括納入してください。

(2) 入学時納入金のうち、正規留学生の入学申込金は学部100,000円、大学院50,000円、特別留学生の許可料は15,000円です。この入学申込金は本学の入学を辞退された場合も返還しません。入学手続完了後の入学辞退・授業料等返還制度については、27ページ「授業料等返還制度」を参照してください。

(3) 正規留学生の学費および諸会費と、特別留学生の科目等履修料については30ページを参照してください。

国外から送金する場合、25ページの「受験料・納入方法」を参照してください。

注：入学手続の手続期間経過後の入学手続は、いかなる事情があっても一切認めません。入学を辞退されたものとみなします。

このことについて本学は厳正に対応しますので、十分注意してください。

自然災害等による災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置

龍谷大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学のための確保を図るために、災害救助法適用地域居住の被災者を対象とした特別措置を設けています。特別措置の適用を希望される受験生は、出願等の手続きをする前に入試部へ必ずご連絡ください（特別措置の詳細については、龍谷大学Webサイトをご参照ください）。

授業料等返還制度

全ての入学手続完了後、入学を辞退される場合は、**2026年9月16日（水）14時59分00秒まで**に手続をしてください。所定の手続を完了されることにより、入学金相当額を除く入学時納入金（特別留学生は許可料を除く納入金（科目等履修料））を返還します。

手続方法はUCARO上で確認できる「入学ハンドブック」でご確認ください。

注意事項

1. 出願書類に不備や虚偽の記載があった場合には受験できません。また、合格後にそれが明らかになった場合は、入学を取り消します。
2. 龍谷大学入学試験では、障がい等のある受験生のために受験上の配慮を行います。受験上の配慮を希望する受験生は、出願等の手続をする前に本学へ必ずご連絡ください。
3. 試験中はすべて監督者の指示に従ってください。指示に従わないときは不正行為とみなし、全科目を無効とします。
4. 社会情勢の急変等により、入試日程、試験内容等を変更する場合があります。変更がある場合は入試情報サイト等で随時お知らせします。
5. 入国制限等により受験できない場合があります。なお、その場合は受験料から返還に係る手数料1,000円を差し引いた額を返還します（書類審査方式は除く）。
6. 万が一受験料を返還する場合は、返還に係る手数料1,000円を差し引いた金額を返還させていただきます。
7. 学部、研究科、試験種別により出願書類が異なります。対象となる所定の書類を提出してください。
8. 出願資格によっては、所定の出願書類の他に適宜必要書類の提出を求めることがあります。
9. いったん提出された出願書類は、返却いたしません。ただし、出身学校等において再発行できない書類に限り、原則として試験日（書類審査方式の場合は合格発表日）以降に返却します。
10. 各種証明書の氏名が、現在の氏名と異なる場合は、それを証明する公的書類（戸籍抄本・住民票等）を提出してください。
11. 各試験室において、試験開始後30分以上遅刻した者は、受験できません。
試験時間中の途中退席は認めません（体調不良の場合は監督者に申し出てください）。試験終了後の退室についても監督者の指示に従ってください。
12. 出願書類への記入は出願者本人が黒色のボールペンではっきりと記入してください（消せるボールペン・修正テープ不可）。修正する場合は、二重線を引いて訂正してください。

個人情報の取り扱いについて

出願書類等に記入された個人情報は、受験票発行や合否結果通知等本学入学試験に関わる事項および個人を特定しない各種統計資料作成のために使用いたします。また、本人の同意を得ることなく第三者に個人情報を提供することはありません。

※本学の個人情報保護への取り組みについては以下のホームページにてご確認ください。

<https://www.ryukoku.ac.jp/policy/privacy.html>

不正行為

- (1) 次に例示したことは不正行為になります。
 - ・出願書類の偽造・虚偽記載をすること。
 - ・解答用紙に故意に虚偽の記載等（解答用紙に本人以外の氏名・受験番号を記入するなど）をすること。
 - ・カンニング行為（カンニングペーパー、教科書、参考書、他の受験生の答案を見る、携帯電話、スマートフォン・タブレット型端末・ウェアラブル端末、電子辞書、翻訳機、ICレコーダー等の電子機器類を使用する、他の人から答えを教わる等）をすること（電子機器類の電源を切っただけにしまわず、身につけていたり手に持っていたりしていた場合も不正行為となることがあります）。
 - ・志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること。
 - ・試験中に、答えを教えるなど他の受験生を利するような行為をすること。
 - ・指示の前に、問題冊子を開いたり、解答を始めた、または解答をやめなかった。
 - ・試験中の使用を認められていない用具を使用した。
 - ・配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に、試験教室から持ち出した。
 - ・試験時間中に問題の内容を他者に伝えた。
 - ・解答用紙を試験教室から持ち出した（持ち帰る）。
 - ・試験時間中または休憩時間にかかわらず、他の受験生の妨害や迷惑行為を行った。
 - ・監督者等の指示に従わない。
 - ・その他、試験の公平性を損なう恐れのある行為をした。
- (2) 不正行為が疑われる際に、次のような対応をとることがあります。これらに応じない場合、不正行為を自認したとみなす場合があります。
 - ・監督者等が注意をする、または事情を聴くこと。
 - ・席の移動または別室での受験をもとめること。
- (3) 不正行為と認められた場合の本学の対応は以下のとおりとします。
 - ①その場で受験の中止と退室を指示し、それ以後の受験はできなくなります。
 - ②当日の入学試験の成績を含め、本年度受験した本学入学試験すべての成績を無効とします。
 - ③当該年度に行われる本学の全ての入学試験の受験を認めません。※上記①～③いずれの場合も受験料は返還しません。
 - ④必要に応じて警察に被害届を提出する場合があります。

学 費 等

■正規留学生の学費および諸会費は、龍谷大学ホームページに掲載しています。



<URL>

https://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/expense/school.html

■特別留学生の学費は、次のとおりです。

(単位：円)

許 可 料	15,000
科目等履修料 <small>注1・2</small>	320,000
合計（入学時納入金）	335,000

注：1. 科目等履修料は、1単位につき10,000円です。

2. 科目等履修料は、年間履修単位数を32単位として算出しています。

奨学金制度について

龍谷大学では、学業成績や人物が特に優れた外国人留学生が、経済的な支援により安心して教育・研究活動に専念出来るよう様々な奨学金制度を設けています。

■外国人留学生学費援助奨学金【給付奨学金】

外国人留学生（1年生）の経済的支援を目的としています。

(1)奨学金額（減免方式）

1年生の1 Semesterと2 Semester共に授業料より125,000円を減免します。適用希望申請者が入学試験に合格した場合、入学手続に必要な納入金額は、学費援助奨学生として採用された減免後の学費とします。

(2)対象者

次の①～④の全ての条件を満たす者がこの制度を利用できます。

- ① 本学の学部における正規課程に在学していること
- ② 在留資格が「留学」であること（もしくは「留学」を取得する見込みがあること）
- ③ 私費外国人留学生であること
- ④ 学部1年生であること

(3)申請方法

- ① 出願時に「外国人留学生学費援助奨学金」適用希望の有無で「有」を選択する。
- ② 入学後、必要な書類を提出する（詳細は合格通知時の書類を確認すること）。

(4)採用の決定

入学後に本学奨学委員会の議を経て、学長が決定します。

(5)注意事項

申請にあたっては、次のことに同意していることを前提とします。

- ① 申請に虚偽がある場合や正しく申請していない場合、入学後に受給資格を喪失した場合には、同奨学金の減免制度の適用が取り消され、不足分の学費（授業料1 Semester125,000円）を追加納入すること。
- ② 入学後、次のいずれかに該当する場合、受給資格を喪失すること。
 - ・ 学業成績が不振と認められる者
 - ・ 入学金、授業料等の負担を除き、仕送り平均月額が90,000円を超える者
 - ・ 休学している者
 - ・ 受給する学期中に退学した者

■外国人（留学生）特別奨学金【給付奨学金】

学業成績および人物が特に優秀な外国人留学生の学習奨励を目的としています。

(1)給付対象および奨学金額（給付型）

所属	学年	奨学金額		採用予定人数
大学院	全学年	年額	授業料相当額	各研究科長から推薦された入学予定者（若干名）
学部	学部：2～4年生	年額	400,000円	各学部長から推薦された者（若干名）
		年額	200,000円	

※大学院は入学時に予約採用型で採用します。原則として標準修業年限を給付期間とします。

(2)注意事項

- ① 本学の学部または大学院における正規課程に在学している者が対象です。
- ② 国費外国人留学生は対象外です。

■大学院学内進学奨励給付奨学金（予約採用型）【給付奨学金】

内 容：本学学部から本学大学院修士課程、本学大学院修士課程から本学大学院博士後期課程へ進学する者を奨励し、経済的に援助する奨学金です。

給付対象：学業成績および人物が優秀と認められる者。

給付金額：150,000円（年額）

採用人数：55名 ＊2025年度実績

選考方法：各研究科が設定する申請期限内に申請し、選考対象入学試験を受ける者の中から選考。入学前に予約採用者（入学後、採用となる者）として決定します。対象となる入学試験等、詳細については当該学部教務課へお問い合わせください。

■大学院研究活動支援給付奨学金【給付奨学金】

内 容：研究活動を積極的に行う者の研究を奨励するための奨学金です。

給付金額：各研究科で設定

審査方法：各研究科で設定

採用人数：136名 ＊2025年度実績

■大学院成績優秀者給付奨学金【給付奨学金】

内 容：修士課程2年次（実践真宗学研究科生は2年次又は3年次）又は博士後期課程2年次若しくは3年次に在学する成績及び人物が優秀な者への奨学金です。

給付金額：各研究科で設定

審査方法：各研究科で設定

採用人数：71名 ＊2025年度実績

※心理学研究科は、2026年度から対象

■先端理工学研究科博士後期課程特別給付奨学金【給付奨学金】

内 容：先端理工学研究科博士後期課程に在籍する学生の学修・研究に専念出来る環境を整えるための奨学金です。

給付対象：入学試験における成績優秀者

給付金額：290,000円／採用人数：8名 ＊2025年度実績

給付期間：3年間、ただし2年目以降の給付については毎年度学業成績審査があります。

選考方法：先端理工学研究科が設定する選考対象入試の合格の中から選考

※選考された対象者には予約採用候補者として入学前に通知します。

■親和会海外研修奨学金【給付奨学金】

内 容：国際人の育成を目的とし、日常のテーマを海外において実証・研究しようとする学生を支援する奨学金です。

給付金額：自己研鑽コース 100,000円以内／採用人数3名（学部学生含）＊2025年度実績

研究コース 300,000円以内／採用人数2名（学部学生含）＊2025年度実績

審査方法：書類・面接審査

■その他の奨学金実績（2025年度実績）

奨 学 金 名 称		支 給 額	採 用 人 数	
龍谷大学	沼田奨学金（学業奨学金）	研究科（月額） 100,000円	13名	
		学 部（月額） 80,000円	1名	
JASSO	(独)日本学生支援機構 私費外国人留学生学習奨励費	研究科（月額） 48,000円	1名	
		学 部（月額） 48,000円	9名	
その他	(公財)SGH財団 私費外国人留学生奨学金	研究科（月額） 120,000円	新規	継続
		学 部（月額） 120,000円	0名	1名
	(公財)京都市国際交流協会 張鳳俊奨学基金奨学金	研究科（月額） 50,000円	0名	0名
	(公財)滋賀県国際協会 外国人留学生びわこ奨学金	研究科（月額） 20,000円	0名	0名
		学 部（月額） 20,000円	1名	0名
	(公財)朝鮮奨学会奨学金	博士課程（月額） 70,000円	0名	0名
		修士課程（月額） 40,000円	0名	0名
		学 部（月額） 25,000円	0名	2名
(公財)日本国際教育支援協会 JEES留学生奨学金（修学）	研究科（月額） 40,000円	0名	0名	
	学 部（月額） 40,000円	0名	0名	
(公財)平和中島財団 外国人留学生奨学金	研究科（月額） 150,000円	0名	0名	
	学 部（月額） 120,000円	0名	0名	
(公財)ロータリー米山記念奨学会奨学金	研究科（月額） 140,000円	0名	0名	
	学 部（月額） 100,000円	0名	1名	

お問い合わせ先一覧


〈入試部〉

TEL：0570-017887（国内から）
075-645-7887（国外から）
受付時間 平日 9：00～17：00

〈留学生入試全般〉

龍谷大学 グローバル教育推進センター事務局 〒612-8577（専用郵便番号／住所表記不要）
TEL：075(645)7898 FAX：075(645)2020 E-MAIL：r-globe@ad.ryukoku.ac.jp

〈在留資格（在留資格認定証明書の代理申請含む）〉

学部・大学院	問い合わせ先
文学部・心理学部・文学研究科・実践真宗学研究科	Campus HUB（深草） TEL：075-645-7893 問い合わせフォーム： 
経済学部・経済学研究科	
経営学部・経営学研究科	
法学部・法学研究科	
政策学部・政策学研究科	
社会学部・社会学研究科	
国際学部・国際学研究科	
先端理工学部・先端理工学研究科	先端理工学部教務課 TEL：077-543-7730
農学部・農学研究科	農学部教務課 TEL：077-599-5601

〈その他の各学部・大学院へのお問い合わせ〉

学部・研究科	電話番号	メールアドレス	所在地
文学部・文学研究科	075-343-3317	let@ad.ryukoku.ac.jp	京都大宮キャンパス※1 〒600-8268 京都市下京区七条通 大宮東入大工町125-1
実践真宗学研究科		sinri@ad.ryukoku.ac.jp	
心理学部・心理学研究科			
経済学部・経済学研究科	075-645-7894	keizai@ad.ryukoku.ac.jp	京都深草キャンパス※2 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
経営学部・経営学研究科	075-645-7895	biz@ad.ryukoku.ac.jp	
法学部・法学研究科	075-645-7896	hogaku@ad.ryukoku.ac.jp	
政策学部・政策学研究科	075-645-2285	seisaku@ad.ryukoku.ac.jp	
国際学部・国際学研究科	075-645-5645	world@ad.ryukoku.ac.jp	
社会学部・社会学研究科	075-585-7672	shakai@ad.ryukoku.ac.jp	
先端理工学部・先端理工学研究科	077-543-7730	rikou@ad.ryukoku.ac.jp	
農学部・農学研究科	077-599-5601	agr@ad.ryukoku.ac.jp	

※1 2027年4月、「大宮キャンパス」より名称変更。
※2 2027年4月、「深草キャンパス」より名称変更。
※3 2027年4月、「瀬田キャンパス」より名称変更。

〈「日本語能力試験」に関するお問い合わせ〉

財団法人日本国際教育支援協会 日本語教育普及課日本語能力試験係
TEL：03(5454)5215 <https://www.jees.or.jp/>

〈「日本留学試験（EJU）」に関するお問い合わせ〉

独立行政法人 日本学生支援機構 留学生事業部留学試験課
TEL：03(6407)7457 <https://www.jasso.go.jp/eju/>

国籍コード一覧

外国人留学生は、Web出願時の「国籍コード」欄に該当するコードを入力してください。

JPN	日本	KHM	カンボジア王国
ARG	アルゼンチン共和国	PRK	朝鮮民主主義人民共和国
AUS	オーストラリア	KOR	大韓民国
BGD	バングラデシュ人民共和国	KWT	クウェート
BEL	ベルギー王国	LKA	スリランカ民主社会主義共和国
BRA	ブラジル連邦共和国	MLI	マリ共和国
BLR	ベラルーシ共和国	MMR	ミャンマー連邦
CAN	カナダ	MNG	モンゴル国
CHL	チリ共和国	MEX	メキシコ合衆国
CHN	中華人民共和国	MYS	マレーシア
DEU	ドイツ連邦共和国	NLD	オランダ王国
DNK	デンマーク王国	NPL	ネパール
DZA	アルジェリア民主人民共和国	NZL	ニュージーランド
ESP	スペイン	PHL	フィリピン共和国
FIN	フィンランド共和国	POL	ポーランド共和国
FJI	フィジー共和国	PRT	ポルトガル共和国
FRA	フランス共和国	RUS	ロシア連邦
GBR	英国	SGP	シンガポール共和国
GRC	ギリシャ共和国	THA	タイ王国
GIN	ギニア共和国	TUR	トルコ共和国
HUN	ハンガリー共和国	TWN	台湾
IDN	インドネシア共和国	UKR	ウクライナ
IRL	アイルランド	USA	アメリカ合衆国
IND	インド	VNM	ベトナム社会主義共和国
IRN	イラン・イスラム共和国	ZZZ	その他
ITA	イタリア共和国		

2025年度 9月入学 外国人留学生入学試験結果・日本留学試験合格者最低点

外国人留学生入学試験 学部 1 年次（正規留学生）

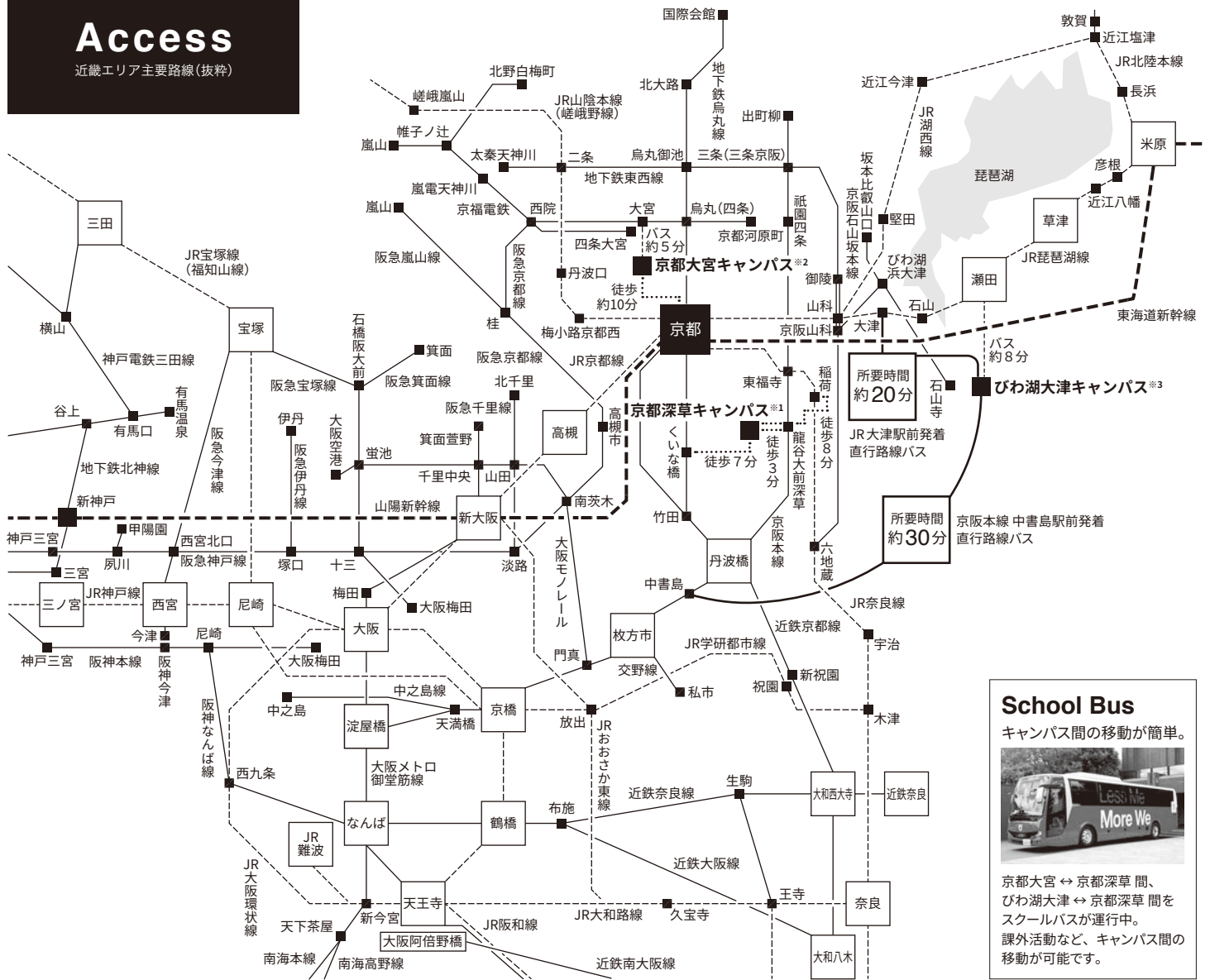
学部	志願者数	受験者数	合格者数	日本語留学試験 合格者最低点（最低点／満点）		
				日本語	日本語記述	総点
国際学部 国際文化学科	4	4	0	/	/	/
法学部 法律学科	1	1	0	/	/	/
総合計	5	5	0			

外国人留学生入学試験 大学院（正規留学生） ※書類審査方式含む

研究科		志願者数	受験者数	合格者数
修士	法学研究科 法律学専攻	0	0	0
	経済学研究科 経済学専攻	0	0	0
	政策学研究科 政策学専攻	2	1	1
	国際学研究科 国際文化学専攻	1	1	0
	国際学研究科 グローバルスタディーズ専攻	1	1	1
	国際学研究科 言語コミュニケーション専攻	0	0	0
博士	法学研究科 法律学専攻	0	0	0
	経済学研究科 経済学専攻	0	0	0
	先端理工学研究科	0	0	0
	国際学研究科 グローバルスタディーズ専攻	0	0	0
総合計		3	2	2

Access

近畿エリア主要路線(抜粋)



School Bus

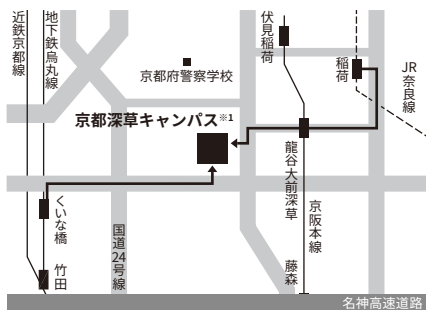
キャンパス間の移動が簡単。



京都大宮 ↔ 京都深草 間、
びわ湖大津 ↔ 京都深草 間を
スクールバスが運行中。
課外活動など、キャンパス間の
移動が可能です。

京都深草キャンパス^{*1} (京都市)

(設置学部・大学院)
文学部(1・2年生) 心理学部(1・2年生) 経済学部
経営学部 法学部 政策学部 国際学部 社会学部
法学研究科 経済学研究科 経営学研究科
政策学研究科 国際学研究科 社会学研究科

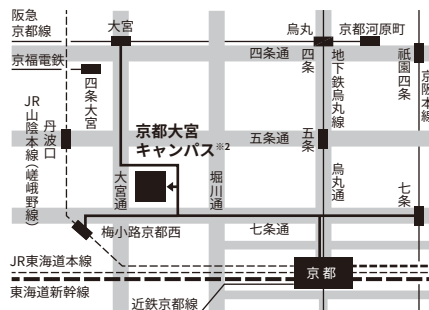


JR奈良線 稲荷駅下車、南西へ徒歩8分
京阪本線 龍谷大前深草駅下車、西へ徒歩3分
京都市営地下鉄烏丸線 くないな橋駅下車、東へ徒歩7分

- ※1 2027年4月、「深草キャンパス」より名称変更。
- ※2 2027年4月、「大宮キャンパス」より名称変更。
- ※3 2027年4月、「瀬田キャンパス」より名称変更。
- ※4 2027年4月、開設予定(設置構想中)。設置計画は予定であり、内容に変更が生じる場合がございます。
- ※5 2027年4月、先端理工学部より名称変更予定。

京都大宮キャンパス^{*2} (京都市)

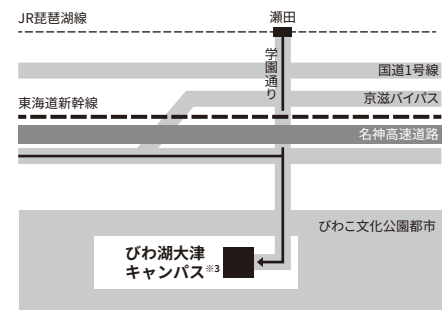
(設置学部・大学院)
文学部(3・4年生) 心理学部(3・4年生)
文学研究科 実践真宗学研究科 心理学研究科



JR東海道本線・近鉄京都線 京駅下車、徒歩10分
JR山陰本線(嵯峨野線) 梅小路京都西駅下車、徒歩10分
阪急京都線 大宮駅より市バス乗車5分、「七条大宮」下車すぐ
京阪本線 七条駅下車、徒歩20分

びわ湖大津キャンパス^{*3} (滋賀県大津市)

(設置学部・大学院)
環境サステナビリティ学部(仮称)^{*4}
情報学部(仮称)^{*4}
理工学部^{*5} 農学部
先端理工学研究科 農学研究科



JR琵琶湖線 大津駅下車、近江バス20分(直行便)
京阪本線 中書島駅下車、京阪京都交通バス30分(直行便)
JR琵琶湖線 瀬田駅下車、帝産バス8分